

「フランスの高大接続からのヒント －思考力・表現力と内申点の評価－」

細尾 萌子 氏 (立命館大学文学部・准教授)

フランスの大学入試であるバカロレア試験では、200 年近くも論述試験を中心としてきた。しかし、2018 年からの大学入学制度の変更と 2021 年からのバカロレア試験改革により、高校の内申点が、大学入学の重要な要素となる。日本の高大接続改革では、多面的・総合的な評価方法や内申点の扱いが焦点となっている。本講演では、フランスの高大接続における思考力・表現力と内申点の評価に関する論点を整理し、日本への示唆を述べる。

「韓国の大学入試改革の現在 －私教育抑制政策と教育機会の格差－」

松本 麻人 氏 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科・准教授)

厳しい大学受験競争が社会問題化して久しい韓国では、競争の緩和を目指す入試改革が繰り返されてきた。導入後 10 年を迎える入学査定官制も、学生の多様な資質・能力の評価をその趣旨に挙げているものの、真の狙いは「私教育」と呼ばれる学校外学習の抑制にある。しかし、その効果は限定的であるばかりか、教育機会をめぐる新たな問題を生みだしている。本講演では、韓国における主な入試改革の概要やその背景、近年の課題について取り上げる。

2018 年 10 月 26 日 (金) 13:00 – 16:00

場 所 : 名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 5F アクティブラーニングスタジオ

参加のお申込は下記ウェブサイトよりお願いいたします。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/>

○いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

○ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。

お問合せ先 : info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696